

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調査書

4-I-21

4-I-21

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ピーク時を想定した緊急受入対応の検討
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	21 渋滞等予測調査の実施	事業主体	佐渡市建設課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	【事業目的】	○ ピーク時を想定した渋滞等予測調査を実施することにより、駐車場や代替交通、仮設トイレ等の整備・検討を行う際の資料とする。	
	【事業内容】	○ 現況の交通量調査を踏まえ、登録前後の増客想定による渋滞予測を行う。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 令和元年度に実施した自動車交通量調査及び駐車場利用状況調査を踏まえて、渋滞緩和対策検討を実施し、将来交通量等から課題を抽出し、混雑緩和対策が必要な区間の優先順位、検討範囲の設定を行い、恒久的な対策、短期的な対策を検討、整理する。	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 新潟県の交通量データと昨年の業務成果を合わせて、より精度の高い交通量推計ができた。 ● 佐渡金銀山へのアクセスルートについて、相川市街地以外では交通混雑は発生せず、相川市街地では、相川大工町付近の2方向1車線区間において、世界遺産登録後、短期的に観光客が増加した場合、夏季の朝と夕方で一時的に交通渋滞が発生する可能性が高いと推計された。同様に駐車場及びトイレの収容能力を計る準備を行った。 ● 渋滞緩和の対策を選び出した。 	
課題・今後の取組	【課題】	■ 相川大工町付近の2方向1車線区間における交通渋滞の解消、佐渡金銀山駐車場への円滑な誘導等を図る必要がある。	
	【今後の取組】	■ 課題の精査と対策の具体化に対して、関係課と連携して取り組む。	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 予定した業務を実施できたためBとする。	
	【事業実施の効果】	[a (b)・c]	
	【総合評価】	[A (B)・C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。